

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

JMCE

【はじめに】

当財団は、財団名の英語表記「JAPAN MUSIC CULTURE EXPORT (JMCE)」の通り、日本音楽の海外進出を更に促進させるべく、本年度は17回目を迎えた「東京国際ミュージック・マーケット (TIMM)」と、BtoB機能を有するアニソンサイト「JAPAN ANIME MUSIC LAB. (JAMLAB.)」を中心に事業を展開してきた。

17thTIMMは、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行を受け、TIMM初のオンライン開催となり、TIMM公式サイト内に出展者ページ・バイヤーページ・商談機能・プレゼン動画機能等を備えた「TIMM ONLINE」を新設し、商談会やネットワーキングを実施。また、ビジネスセミナー・プレゼンテーション、ショーケースライブも配信し、例年のリアル会場開催と同様のメニューをオンライン上で展開した。過去最高となる32ヶ国・地域から170名を超えるバイヤーが参加し、開催期間中の総参加者数も18,992名を記録した。

「JAMLAB.」は、平成30年2月のサービス開始以降、令和3年3月末時点の参加企業が20社、海外からのビジネス目的登録者は540名を超え、海外向けBtoBサイトとして着実に軌道に乗ってきている。

ストリーミングの定着により、海外の音楽市場はポジティブに変化を続けている。これまでのマネタイズに難航してきたアジアや南米などからの収益はもちろんの事、ライブなど興行面でのプロモーションにおいてもストリーミングは重要なツールとなっており、当財団では日本音楽の海外進出をサポートするべく、引き続き上記2本柱の施策を中心に積極的に事業に取り組んでいく。

【主要事業】

1. 実施事業 (公益目的支出 対象事業)

(1) 「第17回東京国際ミュージック・マーケット(17thTIMM)」の開催

※定款第4条(4)

日本音楽の海外進出を支援する国際見本市として、令和2年11月4日から3日間、新設した「TIMM ONLINE」サイトにて17thTIMMを開催した。本マーケットは、「海外バイヤー等との商談会、マッチングイベント」、「海外進出等をテーマとしたビジネスセミナーの開催」、及び「海外バイヤーに直接パフォーマンスをプレゼンできるショーケースライブの開催」を柱に実施しており、今年度も経済産業省、及びVIPOとの共催事業として開催した。

なお、出展者、及び海外バイヤーはコア日となる11月4日～6日以降も商談機能の利用やセミナー、ライブ等のアーカイブ視聴が可能にて、中長期でのビジネス展開もサポートしている。

実施内容の詳細、結果等は以下の通り。

○実施概要

名称： 第17回東京国際ミュージック・マーケット（17thTIMM）/TIMM ONLINE

日程： 令和2年11月4日（水）～6日（金）

会場： [個別商談会／セミナー／ライブ配信] TIMM ONLINE サイト（11/4～6）

※ライブは海外・一般向けに YOUTUBE でも無料配信

[ショーケースライブ] Veats Shibuya（11/4～6）

主催： 経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構、
一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

後援： 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会、一般社団法人 私的録音補償金管理協会、
一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽出版社協会、
一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本貿易振興機構、
一般社団法人 日本レコード協会（50音順）

来場者数：（左・コア日11/4～6 / 右・11月30日までの累計数 ※数字はのべ数）

○期間中総来場者数 18,992名 / 26,988名

（内訳） ・TIMM ONLINE 来場者数：4,018名 / 12,014名

・ライブ視聴者数：合計15,387名 / 15,655名

（YouTube 14,974・TIMM サイト 413）

・セミナー視聴者数：2,049名 / 3,036名

・出展数：22社・団体（掲載アーティスト数247組）

・海外バイヤー登録数：170名 / 177名～32ヶ国・地域

○各パート別詳細

<商談会、ネットワーキング>

出展者は、TIMM ONLINE 内に自社ページを持ち、ページ内で自社アーティスト等のプロモーションを、MV 動画や自社紹介のプレゼンテーション動画も用いながら展開。また、担当者ページやバイヤーページにはメッセージの受送信機能を実装しており、出展者はバイヤーリストから選んだバイヤーに、バイヤーは出展者ページから興味のあるアーティスト、出展者へコンタクトが取れる仕様になっている。なお、バイヤーリストは、ジャンル別、国・地域別等、詳細の絞り込み検索も可能となっている。

<ビジネスセミナー>

日本音楽の海外展開を進める上で関心・注目度の高いテーマを抽出し、関係団体、他コンテンツマーケット等と連携しながら期間中に8本のビジネスセミナーを公開した。

○11月4日(水)(以下、敬称略)

13:00～

<テーマ> 5G時代の音楽ビジネス

<モデレーター> 三浦伊知郎 (KDDI 革新担当部長)

<スピーカー> 長田新子 (一般社団法人渋谷未来デザイン理事・事務局次長)、
宇川直宏 (現代美術家)

15:00～

<テーマ> COVID-19時代に考える過去カタログ楽曲活用術

<スピーカー> ふくりゅう (音楽コンシェルジュ)

17:00～ 共催: IMCJ・WIN 協賛: Merlin

<テーマ> コロナ後の音楽ビジネスと海外展開～オンラインプラットフォームとアジア地域
アライアンス～

<キーノート> Jeremy Sirota (Merlin CEO)

<WINの国際ネットワークとデジタル環境への取組み> Charlie Phillips (WIN COO)

<パネルディスカッション～ポストコロナ時代の国際協力とアジアパシフィック地域アライア
ンス提言>

・モデレーター: Noemi Planas (WIN Network Development Director)

・スピーカー: 野村達矢 (日本音楽制作者連盟理事長、ヒップランドミュージック代表取締役
社長)、Jeffrey Chiang (韓国 LIAK、Fluxus Music, Global Business Manager)、
Alessandro Pavanello (中国 IMCO、Kanjian Music, International Manager)、
Dr. Asugan Pechi Muthu (マレーシア One Stop Music、CEO)、(ケーススタデ
ィー: Oliver Knust (チリ、IMICHILE 理事、中南米アライアンス LATAM 提唱者)

○11月5日(木)(以下、敬称略)

①13:00～ 共催: Music Ally Japan

<テーマ> **【Music Ally Japan Digital Summit in TIMM】** 音楽マーケティングのプロをいかに
育てていくか～デジタル・トランスフォーメーションから考える、日本の音楽業
界の未来像～

<第一部>

・スピーカー: Johannes Scholz (Marketing Manager, IRRSIN Tonträger GmbH)、Amke Block
(Head of Music Ecosystem Development, Surround)

<第二部>

・モデレーター: ジェイ・コウガミ (All Digital Music 編集長、デジタル音楽ジャーナリス
ト)

・スピーカー：今井一成（ポニーキャニオン エグゼクティブ・プロデューサー デジタル戦略担当）、金子雄樹（The Orchard Japan ヴァイス・プレジデント）

②15：00～ 共催：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

<テーマ>#LetTheMusicPlay～コロナ禍における欧州各国のライブ・エンタテインメント～

<モデレーター>：藤本 ミツヤ（Brave Little Tunes 代表）

<スピーカー>Greg Parmley（Managing Director at International Live Music Conference/Chair of the UK Live Music Group）、John Langford（President of the European Arena Association/Chief Operating Officer AEG Europe）、Mark Davyd（Music Venue Trust CEO & Founder）

③17：00～

<テーマ>Diggin' Japanese Popular Music with the guest speakers in LA, London and Paris～BBC ラジオDJによる日本のポピュラーミュージック発掘～

※本セミナーは、海外視聴者向けのため、英語音声のみ（字幕無し）

<モデレーター>ニック・ラスコム（イギリスのBBC ラジオDJ、音楽編集者/プレイリストキュレーター、ロンドン現代美術研究所の音楽ディレクター、Musicity 創設者）

<スピーカー>北沢洋祐（リイシュー・レコード・プロデューサー）、ダレル・シェインマン（英国のアナログレコードレーベル GearboxRecords 創始者）、エルヴィン・パギラス（仏パリ Mondulor/ Mondulor Japan ゼネラルマネージャー）

○11月6日（金）（以下、敬称略）

①13：00～ 共催：一般社団法人日本音楽出版社協会

<テーマ>EU・欧州著作権指令の現状と課題 ～Value Gap、Safe Harbour、第17条～

<モデレーター>見上チャールズ一裕（MPA 理事、グローバルビジネス委員会委員長、株式会社ソニー・ミュージックパブリッシング 代表取締役）

<スピーカー>John Phelan（Director General, ICMP）、Guy Henderson（Sony/ATV President, International）、Helen Smith（Executive Chair, IMPALA）

②15：00～

<テーマ>アジアの音楽ビジネス最前線

<モデレーター>山崎卓也（Field-R 法律事務所 弁護士）

<スピーカー>本多真一郎（株式会社 Zepp ホールネットワーク海外運営事業部チーフプロデューサー）、ジン（日本とタイのインディーズ・シーンを支援するためのレーベル「dessin the world」主宰）

<ビジネスプレゼンテーション>

○日程 11月4日(水)～6日(金)

3日間で以下22本の出展者や海外イベント主催者らのプレゼンテーション動画を公開した。

○海外バイヤー・イベント主催者プレゼン5本(ABC順)

- ・Big Mountain Music Festival by Yuthana Boonorm (GMM Grammy)
- ・FOCUS WALES 2021 by Andy Jones (FOCUS Wales)
- ・LUCfest by Weining Hung (LUCfest)
- ・Maho Rasop/Bangkok Music City/Me. jai by Piyapong Muenprasertdee(Py) (Fungjai Co., Ltd.)
- ・Soundscape Records by Mak Wai Hoo (Soundscape Records)

○出展者プレゼン17本(ABC順)

avex group/BANDAI NAMCO Arts Inc. /Chicken George Publishers/DREAMUSIC Inc. /Independent Label Council Japan/Independent Music Coalition Japan (IMCJ) /JAPAN MUSIC CULTURE EXPORT (JMCE) /JVCKENWOOD Victor Entertainment Corporation/KARPOS LTD/MAGES. Inc/MUGEN Creations/NBCUniversal Entertainment Japan LLC/Nippon Columbia Co.,Ltd./Nipponophone/Teichiku Entertainment, Inc. /U/M/A/A Inc. /VAP inc. /VIPO

<ショーケースライブ>

○日程 11月4日(水)～6日(金)

○会場 Veats Shibuya (新型コロナウイルス対応として、無観客配信、及びファンの出入り待ちによる密集を回避するべく、開催場所も非公表で実施)

○配信方法 TIMM ONLINE 来場者向けに TIMM ONLINE 内、及び国内外の一般視聴者向けに YouTube でも配信

○出演者 (出演順/3日間合計15組が出演)

11月4日(水)

MADKID、GOOD BYE APRIL、FAITH、FOUR GET ME A NOTS、YORIE

11月5日(木)

アイラヴミー、竜馬四重奏、FES☆TIVE、未来、SHARE LOCK HOMES、4s4ki

11月6日(金)「JAMLAB. presents "JAPAN ANIME MUSIC SHOWCASE 2020"」として実施

MindaRyn、彩音、JUNNA、高橋洋子

2. その他事業(公益目的支出 対象外事業)

(1) アニソン情報検索サイト「JAPAN ANIME MUSIC LAB.」の運営

※定款第4条(2)

本サイトは、平成30年2月5日にサービスを開始。令和3年3月末時点で20社が参加、542名の海外関係者が登録している。これまでサイト掲載アーティストに303件のコンタクト・問い合わせが寄せられており、引き続き内容を活性化させ、継続的な情報の拡散など広報の強化を図りながらアニソンBtoBサイトとして更なる充実を図っていく。

なお、本サイトは海外からのアクセスが約90%を占め、その国数は170ヶ国となっている。

サイト名称： Japan Anime Music Lab. (略称 JAMLAB.)

参加企業： 20社(3/末現在)

登録バイヤー： 542名(3/末現在)

(2) 公募助成、スカラーシップ支援等

※定款第4条(2)(3)

本年度は、日本はもちろんの事、全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、各国のイベント等が中止やオンライン開催になったことから、施策の実施は見送らざるを得ない状況となった。次年度についても新型コロナウイルスの各国の状況が不透明ではあるが、オンラインでの参加等、引き続き検討を続けながら効果的な施策を実施していく。

(3) 内外交流事業

※定款第4条(5)

本事業についても、上記(2)同様、新型コロナウイルスの感染拡大による他国イベントの中止等により、アーティスト派遣や交流事業の実施を見送った。本件についても今後の新型コロナウイルスの各国の状況が不透明ではあるが、引き続き検討を続けながら効果的な施策を実施していく。

【運営体制】

1. 評議員会
2. 理事会
3. 三役会
4. 評議員選定委員会

【委員会、プロジェクトチーム等】

1. JAPAN ANIME MUSIC LAB. プロジェクト

以上